

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	35639	
事業名	大学連携型施設等運営費						
評価担当課	所属名	経)経済戦略推イノベーション					
	課長名	吉田 泰斗	担当者名	及川 可菜	電話番号	011-211-2379	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外		戦略ビジョン	<input checked="" type="radio"/> 対象 <input type="radio"/> 対象外			
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費 <input type="radio"/> 臨時的経費						
	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 法定経費 <input type="radio"/> 指定管理						
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営 <input checked="" type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 補助助成 <input type="radio"/> その他					
	目的	短期	北大ビジネス・スプリング(北大BS)の賃料の一部の補助などにより、資金力の弱いベンチャー企業等の負担を軽減し、研究開発を進展させ、早期事業化へとつなげる。				
		長期	産学官連携やネットワークの活用により、道内企業の技術力等の向上を図り、起業や新規事業展開へとつなげ、経済の活性化を図る。				
	取組内容	【目的】産学官連携の推進により道内企業の技術力等を向上させることで経済の活性化を図る 【内容】北大ビジネス・スプリングとR&Bパーク大通サテライトの運営に対する支援を行う。 ①北大BS支援事業 北海道とともに北大BSの入居企業の賃料を補助するとともに、入居企業への支援・本市との連絡調整を担当するIM(インキュベーション・マネージャー)を配置する。 ②R&Bパーク大通サテライト運営事業(北海道、北海道経済連合会等とともに負担金拠出)					
実施結果	北大BSの入居者に対して賃料の一部を補助するとともに、IMの配置を行い、研究開発の促進や入居者の各ステージに応じたハンズオン支援を実施した。 また、市内中小企業の技術開発、新事業展開等の相談窓口である、R&Bパーク大通サテライトの運営費を負担。						
事業実施における工夫点	北大BSに配置しているIMとの連携を行い、入居企業の動向を把握しながら、当市支援メニュー等を提供するとともに、R&Bパーク大通サテライトについては、定期開催される連絡会に参加し、関係機関等との情報共有に努めた。						
対象者	北大BS入居者の他、医療・バイオ・食関連企業			開始	平成20年度	終了	令和5年度
関連法令・条例・要綱等	北海道大学連携型起業家育成施設整備事業に関する覚書(独立行政法人中小企業基盤整備機構、北海道、札幌市の3者により締結)						
他都市の状況	千葉市大学連携型起業家育成施設入居者支援補助金、横浜市大学連携型起業家育成施設入居支援補助金、岡山大学連携型起業家育成施設入居者支援事業など、同様のインキュベーション施設に関連する多くの自治体で補助制度を設けている						

◎事業費

(単位:千円)

		令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費		11,121	13,294	9,770	13,564
うち特定財源		0	0	0	0
人工		0.2	0.2	0.2	0.2
人件費		1,440	1,440	1,440	1,440
計(事業費+人件費)		12,561	14,734	11,210	15,004
事業費の内訳	令和3年度決算	(1) 北大BS入居者への賃料補助 3,772千円 (2) 北大BSへのIM派遣に伴う委託料 5,698千円 (3) R&Bパーク大通サテライト運営費 300千円			
	令和4年度予算	(1) 北大BS入居者への賃料補助 7,426千円 (2) 北大BSへのIM派遣に伴う委託料 5,761千円 (3) R&Bパーク大通サテライト運営費 300千円 (4) 市事務費 77千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	R&Bパーク札幌大通サテライト相談件数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	245	200	170	200	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	北大BS入居率(3月末時点)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	100	90	97	90	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	北大BSでは17社に対して賃料補助を実施。また、入居企業を支援するためインキュベーションマネージャー(IM)を1名配置し、個々の企業の状況に応じた経営相談、コーディネートを実施している。 北大BSの入居率は97%となった。 R&Bパーク大通サテライトの技術相談は170件。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	北大BS入居企業への賃料補助は、他都市の類似制度と比較し妥当な水準である。 北大BSに配置するIMについては、他機関を含め3名が派遣されており、R3は963件の相談対応・情報提供等を実施。入居企業数、相談件数からも3名のIM配置は妥当。 R&Bパーク大通サテライトでは、各機関が連携した相談により、中小企業支援につながっている。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	北大BS入居者への支援は、中小企業基盤整備機構、北海道、札幌市との協働により行うとされている。賃料補助については北海道とともに実施し、IM派遣については各機関から専門分野の異なる3名が派遣されており、効果的な支援が実施されている。 R&Bパーク大通サテライト運営は、北海道や北海道大学、札幌市等の参画機関で構成する運営協議会で意思決定されており、妥当な方法と考える。			
対象者の満足度 (対象者のニーズにしているか)	A	北大BS入居企業は、研究開発等へ多くの資金を要することから、賃料補助へのニーズは高い。IMは、入居者が抱える様々な経営課題などの相談に応じており、入居者のニーズに応じている。 R&Bパーク大通サテライトは、市内中心部に位置しており、産学官連携の総合窓口として無料相談に応じており、産学官連携の入り口としてニーズに応じている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	北大BSの入居企業について、事業化の達成や期限満了により退去する企業があるため、将来の入居率の変動を見込んだ勧誘が必要であるとともに、近年は入居率がほぼ100%であることを踏まえ、ポストインキュベーション施設の設置の可能性等について検討する必要がある。また、入居者の事業化に向けた支援充実のため、各機関との更なる連携が必要である。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円	
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	勧誘活動が実を結び、入居率はほぼ100%である。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ● 現状維持 ○ 休止・廃止 なし			
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 なし		見直し効果額	0 千円